

## 実習計画書

## リーダーが伝えなければならないこと

- ① Aさんの身体機能や環境を再確認し再検討をする。「危ないからやめさせる」ではなくて「どうすればリスクを減らして本人のしたいことが支援できる」という思考になり、共有できる。

| いつ                   | 誰が    | どこで       | 誰に(と) | 方法                           |
|----------------------|-------|-----------|-------|------------------------------|
| ○月○日<br>再アセスメントを実施する | 実習協力者 | 所属ユニット事務所 | 私     | モニタリングや再アセスメントし、本人がしたい生活を考える |

## どのように伝えるのか

- 現在の A さんが現在持っている身体能力をアセスメントする。話し合いながら行う。
- 本人は何がしたいのか考える。本人に向き合い、本人に実習協力者がインタビューをする。本人が答えにくいところがあれば代弁し、**生活の現状などを話し合う**。
- 本人がしたい生活のケアプランを考える。

|              |  |
|--------------|--|
| SVで焦点をあてるところ | <b>1. 利用者本人がしたい生活について支援の在り方<br/>2.</b> |
| 記録用紙作成       | <b>SVシート1枚、アセスメントシート、ケアプラン</b>         |

|   |   |             |       |                       |
|---|---|-------------|-------|-----------------------|
| リーダーが伝えなければならないこと   |   |             |       |                       |
| ② 困りごとに遭遇した時、他の職員の対応で成功した取り入れやすい対応があるなら実践すべきである。  |   |             |       |                       |
| いつ  | 誰が  | どこで         | 誰に(と) | 方法                    |
| ○月○日<br>カンファレンス   | 実習協力者が司会をする   | 会議室カンファレンスで | 職員全員  | 参加職員から A さんのケアの成功例を訊く |
| どのように伝えるのか  |   |             |       |                       |
| 1. ②について協力者と話し合う<br>2. カンファレンスから発言があった成功例を参加職員から聞き出してケアの今後の方向性を決めて実践する計画を話す<br>3. カンファレンスが終わってから SV を行う |   |             |       |                       |
| SV で焦点をあてるところ   | 1. ケアの困りごとについて実習協力者の考え<br>2. カンファレンスでの他の職員の成功例の発言について実習協力が者が感じたこと |             |       |                       |
| 記録用紙作成  | カンファレンスシート、SV シート2枚   |             |       |                       |